

教育委員会点検・評価報告書
(平成27年度)

平成28年7月

勝山市教育委員会

1 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が平成19年6月に改正され、平成20年4月1日から施行されました。

これを受け、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆さんへの説明責任を果たしていくために行うものです。

なお、具体的な点検及び評価項目や報告書の様式、議会への報告、公表の方法などについては、国が基準を定めるのではなく、各教育委員会が実情を踏まえて行うこととされています。

2 点検・評価の方法及び経緯

(1) 平成27年6月定例教育委員会（6月1日開催）

対象項目を協議するとともに、点検・評価表の素案について協議しました。点検・評価の対象項目を下記3のとおり決定するとともに、点検・評価の方法及び評価例を下記4、5のとおり決定しました。

(2) 平成27年11月定例教育委員会（11月3日開催）

点検・評価の中間取組状況、中間時点の課題等について、教育委員会ヒアリングを開催しました。

(3) 平成28年4月定例教育委員会（4月7日開催）

点検・評価の取組結果、成果、問題点、評点について、教育委員会ヒアリングを開催しました。

(4) 平成28年5月定例教育委員会（5月10日開催）

点検・評価の取組結果、成果、問題点、評点について、教育委員会ヒアリングを開催しました。

(5) 平成28年6月定例教育委員会（6月2日開催）

点検・評価の取組結果、成果、問題点、評点について、教育委員会ヒアリングを開催しました。

3 対象項目

(1) 平成27年度勝山市全体の政策（基本目標管理）評価のうち教育委員会関係

(2) 平成27年4月定例教育委員会協議事項の「各課の重要課題と取組方針」

※（2）が（1）に包含される場合は（1）の項目で、包含されない場合は適当な項目を付し対象項目としました。その結果、18項目が評価の対象となりました。

4 方法

- (1) 対象項目ごとに点検・評価表の作成とともに、まず担当課による自己点検・自己評価を求めました。次に、教育部内の横断的な観点も含め教育委員会部局課長による相互点検・評価を求めました。
- (2) 上記(1)を参考資料として教育委員会ヒアリングを実施し、教育委員会(委員5名の合議体)による最終の点検・評価を行いました。

5 評価例

取組目標に対する達成状況を基準にして評価対象の難易度を勘案し、最終的に教育委員会が次の基準(5～1)に沿って行いました。また、特に評価の過程で点検・論議された課題等について、必要に応じて記載しました。

5	十分な成果があった
4	かなりの成果があった
3	最低限の成果はあった
2	あまり成果がなかった
1	まったく成果がなかった

6 点検・評価にあたって

評点は、難易度を斟酌して付しています。また、課題等は、次年度の目標設定におけるフィードバックを念頭に置き、論議した事項を記載しました。

以上の点検・評価の結果は、各評価対象項目における主な取組内容、評点及び課題等にして一覧表にとりまとめました。

7 おわりに

この制度は、教育委員会が自らの仕事の点検・評価を行い、住民の代表である議会に報告することで、説明責任を果たそうとするものです。法改正に伴い取り組んでいます。どの作業も試行錯誤の中で行っており、今後、市議会をはじめ市民の皆様方のご意見を参考に、点検・評価の方法や時期等について見直しを重ねる中で、この制度をより良いものにしていきたいと考えています。

また、今回の報告にあわせて教育委員会の構成と教育委員の任期並びに教育委員会の開催回数と内容等についても、添付させていただきました。

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
1	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う対応について</p> <p>1. 総合教育会議の開催 ・総合教育会議を開催し大綱を策定した(10/22 第3回)</p> <p>2. 教育大綱の策定 ・議会へ報告(10/23全員協議会で教育大綱配布) ・HPでの公表 ・当初予算への反映</p>	5	<p>・総合教育大綱に掲げた各課の事業を予算、事業計画に盛り込む。 ・市長と教育委員会とより緊密な連携を図り、年2回程度の開催を予定。</p>
2	<p>教育環境の整備・充実1</p> <p>1. 中学校再編方針への対応 及び 2. 小学校再編のあり方の検討 ・平成37年度まで生徒数見込みを、平成39年度まで見込む。 ・総務課において公共施設の更新、統廃合、長寿命化を計画的に行い、財政負担の軽減、平準化を図るための公共施設等総合管理計画を策定。</p> <p>3. 幼保一体化への対応 ・平成28年度の各園の園児数が確定。3歳児園児数が3人となった勝山中部幼稚園では、新入園児も含めた保護者会を開催し、新年度のクラス割、今後の幼稚園のあり方について説明(3/18)。</p> <p>4. 学校給食のあり方の検討 ・学校給食の集約化について、関係小学校の学校長、栄養士、調理師と現場確認し打合せを実施。 ・PTAへの説明は、工事の進め方がまとまった段階で説明することとなる。</p>	4	<p>◎学校再編 ・平成25年度では、出生数から平成37年度までしか生徒数の見込みをだせなかったため、平成27年度では、その後2年間の状況を加味し平成39年度までの生徒数見込みをだした結果、勝山南部中学校では1クラス減の7クラス、勝山北部中でも1クラス減の5クラス、勝山中部中では2クラス減の6クラスと見込まれる。転出などによる減によるもので勝山北部中学校では1学年2クラスを維持できない状況となっている。 ・公共施設等総合管理計画によると学校教育系施設は延べ床面積では全体の約4割をしめ、築後30年での大規模改修を想定すると平成40年代より50年代にかけての改修費用が多額となることが見込まれるので、学校再編にあたり、総合管理計画の内容も踏まえ検討が必要となる。 議会においても、中学校再編検討委員会設置の前倒しの意見があり、再編の在り方の検討を進めていく必要がある。</p> <p>◎幼稚園 ・今後の幼稚園入園者の見込みと園児数の推移を再度検討する必要があるが、勝山中部幼稚園については、過去の幼稚園の統廃合の経緯を見ながらあり方を検討する時期になっている。 また、子育て支援新制度が発足し5年以内の平成31年度までには、私立保育園の認定子ども園化も更に進むことが見込まれることより、成器南幼稚園も含めた幼稚園のあり方の検討が必要となる。</p> <p>◎学校給食 ・学校給食の集約化については、今後の学校再編計画に大きく左右される部分がある。</p>

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
			<p>中学校を1校とした場合、自校方式又はセンター方式となった場合、費用対効果も考慮し小学校も含めた検討が必要となる。</p> <p>また、調理師の高齢化により平成30年度末には、現在16人(他に代替調理師2人)の調理師が11人となり、小学校9校への正規職員配置は難しくなる。</p> <p>更に、平成37年度末では、3人となってしまふ。人材確保の点からも早期に方向性を示す必要がある。</p>
3	<p>教育環境の整備・充実2</p> <p>1. 学校耐震化非構造部材補修 ①平成27年度に勝山中部中学校の外壁耐震工事終了 ②平成28年度当初予算に向けた非構造部材補修工事の考え方をまとめる。</p> <p>2. 学校改修工事等 ①耐震化事業終了後の学校施設の計画的な修繕計画の策定 ・平泉寺小学校、村岡小学校、三室小学校の耐震補強・大規模改修工事が完了し、全小中学校の耐震化が終了。 ・学校給食の集約化について、工事概要、費用について概算額算出。 ・トイレ洋式化工事(勝山南部中学校、勝山中部中学校、勝山北部中学校)については学校再編計画がまとまった時点での対応となる。</p> <p>②公共施設等総合管理計画による概算工事費が確定。 ・荒土小学校細野分校の今後の在り方について、関係区との協議を実施。市の方針を示し理解を求めた。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強工事完了後の学校施設整備計画について、公共施設等総合管理と整合性をとりながら検討する必要がある。(中学校トイレ、学校グラウンド、プール等) 非構造部材の耐震化工事については、避難施設となる屋内体育館の実施計画はたったが、その他については学校再編との整合性をはかりつつ、緊急性をみながら、対応していく。 給食調理室の拠点化については、学校給食の集約化に関する検討結果に沿って検討していく。 総合管理計画においては、細野分校、大矢谷冬期分校の廃止の方向性としたが、今後さらに、地元地区と協議が必要。
	<p>心豊かでたくましい児童・生徒を育てる学校教育の充実</p> <p>1. 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と、自ら学び、自ら考える力の育成 ①後期期学校訪問(9/17~11/26)における授業研究の推進 ②ユネスコスクールとして、特色ある総合的な学習の時間の実践 ③学校図書館やICT機器の積極活用(全校で電子黒板、大型モニター等活用) ④市単支援員配置(少人数指導支援員等 計25名) ⑤コア・ティーチャー研究指定校による授業研究会実施(村岡小10/23 11/26 1/18)</p> <p>2. 多様な体験活動を通じた、心豊かで、たくましい児童・生徒の育成</p>		<ul style="list-style-type: none"> 新たな不登校の未然防止

No.	評価対象項目 主な取組内容	評点	課題等
4	<p>①道徳教育や人権教育、性教育を通じた命の大切さ、他人に対する思いやりなど個人の尊厳を尊重する実践的態度の育成（道徳授業研究会10月以降計9回 成器南小10/22 鹿谷小10/14 10/30 11/20 荒土小10/29 平泉寺小11/6 勝山北部中11/10 野向小11/13 勝山中部中11/16）</p> <p>②ボランティア活動を取り入れた、豊かな人間性の育成（総合的な学習の時間、特別活動、クラブ活動、部活動等で）</p> <p>③各種研修会（いじめ・不登校対策研修会：1/22、カウンセリング研修会11/19 その他）への参加と校内伝達講習</p> <p>3. 調和のとれた体位・体力の向上および心と体の健康の増進</p> <p>①特色ある学校体育の推進（全小中学校でのクロスカントリースキー授業）</p> <p>②家庭と連携した健康教育の推進（小学校1・4年で家庭と連携した歯科健診を実施 全小中学校で保健だよりの充実と活用）</p> <p>③部活動等における地域スポーツ人材の活用</p> <p>④体力作りと合わせた礼儀指導（生徒指導部会による「くらしの礼儀作法」活用推進）</p> <p>⑤全小中学校における地元産100%和食給食の実施（11/24）</p> <p>4. 英語教育強化地域拠点事業による、グローバル化に対応した外国語活動・英語教育の推進</p> <p>①先行的な英語教育の実施（3・4年：外国語活動 5・6年：英語科）</p> <p>②従来の外国語活動を発展させた英語の指導方法や評価、指導体制の研究・実践</p> <p>③小中を通じた系統的な英語教育のあり方についての研究・実践</p> <p>④公開授業（10月以降計13回 三室小10/23 北郷小10/28 成器西小11/5 平泉寺小11/6 野向小11/13 成器南小11/25 村岡小11/30 勝山南部中12/3 鹿谷小10/30 12/10 勝山中部中1/27 勝山北部中11/10 2/12）の実施</p> <p>⑤小中高のスムーズな連携を促進するため、公開授業や研究会に相互参加</p> <p>5. ESD（持続発展教育）の推進による、ふるさとを愛する心の醸成</p> <p>①ユネスコスクール活動の充実（全小中学校で実施）</p> <p>②各校の地域や特色に合わせた、質の高いESDプログラムの開発（各地域に合わせた環境保全活動、ふるさと学習）</p> <p>③ふるさと学習を通じた、ふるさとをよりよくしていこうとする態度の育成（各小学校におけるまち探検、勝山北部中学校におけるまちづくりプロジェクト、3中学校合同職場体験学習事業）</p> <p>④各校の特色に合わせた環境学習や自然体験活動の実施。</p> <p>⑤全小中学校から1名以上のユネスコスクール全国大会参加（12/4,5東京）</p>	4	

No.	評価対象項目 主な取組内容	評点	課題等
	<p>都)。 ⑥優れた実践に贈られるESD大賞中学校賞を受賞(ユネスコスクール全国大会にて 勝山北部中) ⑦日本ユネスコ協会より県内初のボランティア活動認定書授与(3/9勝山南部中福祉部 生徒4名)。</p> <p>6. 家庭・地域との連携による、開かれた特色ある学校づくりの推進 ①地域の諸行事への児童生徒の参加・参画推進(雪祭り、左義長、各地区活動)。 ②地域・学校協議会の実施。 ③共通評価項目(小学校12項目、中学校13項目)を設けた学校評価の実施。 ④開かれた学校づくりを目指した継続的な地域への働きかけ(定期的な学校開放日・授業参観日の実施 総合学習等での地域の方との協働) ⑤全小中学校で、PTAと連携した「各校スマートルール」の策定と活用。</p> <p>7. 保育園・幼稚園と小学校・中学校・高等学校の連携・交流の推進 ①幼稚園教育における指導方法や指導体制を工夫改善する研修会の開催(11/18 1/14 2/10) ②保育園・幼稚園・小学校が連携し、連絡協議会や交流活動を実施(幼保小連携協議会2/3) ③未就園児と保護者のための「南かぜタイム」(3月末で12回)・「ちびっこ広場」(3月末で12回)の開催 ④各種連絡会や授業研究交流会を通じた、小・中・高が連携した生徒指導・教科指導の充実(小中高生徒指導主事会12/4 中高連絡会11/19 1/15 英語を中心とした各種授業公開・授業研究会の実施)。</p> <p>8. より良い教育環境の整備・充実 ①不登校の未然防止・早期発見(適応指導教室との連携、中学校への登校支援員配置、スクールカウンセラー未配置小学校へのスクールカウンセラー訪問、スクールソーシャルワーカーの派遣)。 ②いじめ防止基本方針に基づいたいじめの未然防止、早期発見、早期対応(毎月、各校より市教委へいじめ等の状況報告を実施 10月～3月末までのいじめ未然防止に向けた各校いじめ対策委員会のべ443回開催)。 ③小中連携(中学校区ごとに体験入学、部活動体験会、入学説明会の実施 各校区で適宜授業交流・連絡会等の連携を実施)。 ④保幼小連携・接続の取組推進(保幼小連携協議会2/3)。 ⑤防災および不審者への対策など危機管理体制の整備(全校で避難訓練実施)</p>		

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
5	<p>「生きる力」を育む市民活動の展開</p> <p>1. 青少年健全育成計画「かつやまっ子応援プラン」に基づく事業の推進 ①青少年育成勝山市民会議の広報紙を年3回発行し、各地区応援ネットワークや各種団体の活動、親子イベント等年間の取組みを市民に周知した。 ②親子イベントでは、県ライフアカデミーの講師派遣事業を活用し9/26及び10/24に初めて市民大学と共催して「親子で科学実験をしよう！」を開催した。(のべ44名参加)また、10/29にはドイツ室内合奏団の笠川恵さん等プロの音楽家による「ふれあいミニコンサート」を開催した。(90名参加) H27年度の補助金申請状況は各地区かつやまっ子応援ネットワーク14件、各種団体18団体(H26実績16団体) ③11/11の奥越ブロック合同研修会では、勝山地区及び荒土地区の応援ネットワークの活動内容を発表し大野市との意見交換を行った。 ④青少年健全育成推進事業補助金交付要領はこれまで理事会での意見を元に一部改正を行ってきたが、分かりにくい面があるため交付要領全部を見直し平成28年度から適用することとした。</p>	4	<p>・各地区応援ネットワークの活動も3年目を迎え、事業内容にやや固定化した面が見られる。研修会などを開催し、新たな視点での取組みに繋がる情報を提供したい。</p>
6	<p>学習機会と施設の充実</p> <p>1. 行財政改革実施計画と連動した公民館運営の充実 ・秋の政策ヒアリングにおいて、地元の理解を得てH29年度から順次嘱託化を進める方向で説明。嘱託主事の賃金等待遇改善について総務課と協議。 ・他の市町の公民館職員体制の調査結果を元に、地区からの意見に対する改善案をまとめ、2月から区長連合会理事会、各地区区長会及び公民館運営審議会に出向き説明中。</p> <p>2. 生涯学習の機会提供と学習内容の充実 ①「(仮称)市民総合大学」による情報提供 「勝山市民総合大学」については、各課から平成28年度に実施する生涯学習に関する講座や体験学習等を募集し、一般教養学部、ジオパーク・自然・環境学部、健康・福祉学部に分け、体系的にまとめた。 チラシやホームページ等により年2回市民に周知する予定。3月下旬に平成28年度前期分のチラシを全戸配布した。</p> <p>②生涯学習センター「友楽喜」の利用促進 H27実績 講座数69 受講者数1,202名 施設利用者数13,003名 H26実績 " 64 " 1,164名 " 12,688名 ・ジオパーク、ふるさと検定、勝山の歴史等地域の特色や市が重点をおく事業も取り入れた講座の開催に努めた。 ・村岡小学校体育館の耐震補強工事の影響により体育館使用者が増加した。</p>	4	<p>・公民館主事の嘱託化は、地域住民の理解を得てH29年度から順次進めたい。 ・市民総合大学を開講するにあたり、申込み等事務手続きや運営が市民に分かりやすく効率よく行えるように努める。</p>

No.	評価対象項目	評点	課題等																		
	主な取組内容																				
	<p>・運営審議会を2回開催し、委員の意見を参考に講座内容を検討した。</p> <p>③勝山市生涯学習人材バンクの利用促進 1団体の利用回数を年3回までとしたところ、複数回利用した団体が7団体あり、高齢者等に充実した学習体験の場を提供できた。 H27利用実績 32件（講師12名活用）H26実績31件 講師登録者数57名（新規登録1名、死亡・転出による登録削除3名）</p> <p>3. 市民会館の施設改修と長寿命化工事の推進</p>																				
7	<p>自然体験学習・ジオパーク学習の推進</p> <p>1. 自然体験学習等への参加者数 参加者目標1,600人に対し、参加者数1,097人</p> <p>総合計画における施策指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策指標</th> <th>～H23</th> <th>～H24</th> <th>～H25</th> <th>～H26</th> <th>～H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>1,100人 (累計)</td> <td>2,300人 (累計)</td> <td>3,600人 (累計)</td> <td>5,000人 (累計)</td> <td>6,500人 (累計)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,195人</td> <td>2,741人</td> <td>4,507人</td> <td>6,069人</td> <td>7,166人</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 自然観察会の開催 参加者合計 274人 ・10月25日 秋の谷のブナ林 19人 ・11月1日 岩屋の自然観察会（雨天中止）</p> <p>② ワンダーフォーゲルin勝山の実施 参加者合計37人</p> <p>③ 探勝登山等の実施 参加者合計28人 ・春山残雪登山（取立山）参加者12名</p> <p>④ 「恐竜を描こう」図画作品コンクールの充実 作品数722点</p> <p>⑤ 浄土寺川ダムでのカヌー体験の実施 参加者数36人</p>	施策指標	～H23	～H24	～H25	～H26	～H27	目標	1,100人 (累計)	2,300人 (累計)	3,600人 (累計)	5,000人 (累計)	6,500人 (累計)	実績	1,195人	2,741人	4,507人	6,069人	7,166人	3	<p>・平成27年度の参加者数が過去3年間と比べて少なくなっている。</p> <p>・平成26年度の内訳と比較すると、「恐竜を描こう」で331人の減、自然観察会132人減、探勝登山52人減などとなっており、それぞれについてPR方法等について検討を行う必要がある。</p>
施策指標	～H23	～H24	～H25	～H26	～H27																
目標	1,100人 (累計)	2,300人 (累計)	3,600人 (累計)	5,000人 (累計)	6,500人 (累計)																
実績	1,195人	2,741人	4,507人	6,069人	7,166人																
	<p>文化活動の充実</p> <p>1. 郷土芸能施設の整備、充実 左義長櫓会館の修繕にかかる補助申請1件</p> <p>2. 勝山市文化協会への支援</p> <p>①9月～3月に会員による定期発表会をゆめおーれ勝山等で年5回開催（入場料</p>		<p>・文化協会の中には、会員の減少と高齢化により存続が危ぶまれる団体もある。</p> <p>・市民総合文化祭について、他市町の状況も研究し新しい視点での取組を検討したい。</p>																		

No.	評価対象項目 主な取組内容	評点	課題等
8	<p>無料) 参加団体の募集、PR、会場調整などで支援した。発表する場を設けることにより、会員の意欲を喚起させる一助となった。</p> <p>②若手音楽家の発表会は開催できなかったが、全国大会入賞者を広報等で紹介するなど若手音楽家の活躍を周知した。</p> <p>H28年5月28日開催の新体育館落成式のアトラクションで披露するコーラスの企画や合唱団員募集、練習等について支援した。老若男女を問わず約100名の参加申込みあり。</p> <p>3. 勝山市民総合文化祭の充実</p> <p>①10/31～11/1第51回勝山市民総合文化祭を開催、新規の取組みとして秋の歌とピアノ、ハープ等の演奏によるコンサートを開催した。昨年まで式典のみであったが、引き続きコンサートを開催したことにより集客に繋げることができ好評を得た。芸能・展示に77団体参加。勝山高校芸術部及び奥越明成高校美術部からの出品あり</p> <p>11/19「かつやま寄席」を開催し、多くの市民に落語の文化に親しむ機会を提供した。(670名参加)</p>	4	
9	<p>競技スポーツと生涯スポーツの推進</p> <p>1. 勝山恐竜クロカンマラソンの充実</p> <p>第11回大会はエントリー数が2,274人となり、当日の参加者数も2,095人と過去最高の参加者数となった。越前大仏の臨時駐車場は満杯となり、かつやま恐竜の森の駐車場もスタート時点で満車となったが、スタート終了と同時にスタート地点の道路を駐車場とし渋滞を避けることができた。</p> <p>暑さ対策は、十分に準備を行ったつもりだが、当日は気温が上がらなかったため、その検証ができなかった。</p> <p>2. 白山禅定道トレイルマラソンの充実</p> <p>要項の見直しを行い、大会中止の場合の参加者への戻し金について、準備に要した経費を除いて返金を行う仕組みとした。</p> <p>当日は、気温も上がらず参加者にとっては最高のコンディションとなった。</p> <p>エントリー数 192人(定員150人)、当日の参加者数 177人で過去最高</p> <p>3. 選手の強化と指導者の育成</p> <p>国体に向けた選手強化については、団体からの申請を受理し、昨年引き続き水泳、バドミントン、ソフトボールが強化及び審判員の要請に取り組む。また、今年度からバレーボール協会も審判員の要請の申請があり強化の対象として認めた。</p>	5	<p>・クロカンマラソンについては、コースの見直しを行うこととしている。平成28年度はタイトなスケジュールとなることから、早めの対応を行う必要がある。</p>
	<p>体育施設の整備・充実</p>		

No.	評価対象項目 主な取組内容	評点	課題等
10	<p>1. 既存体育施設の再配置、再整備 市営体育館及び勤労者体育館の廃止やB&G海洋センターの整備案などについて最終案について議会の理解を得、利用者団体等へも説明し理解を得た。</p> <p>2. 体育施設の料金の見直しと新体育館の料金設定 12月議会において条例の見直しが議決された。</p> <p>3. 新体育館のオープンに向けた準備 予定していた準備事項については、ほぼ整った。トレーニングルームの活用方法については、今後、参考とすべき事例を調査していく。</p> <p>4. B&G勝山海洋センター利用の充実 ソフト事業の実施に加え、既存体育施設の再配置、再整備の方針において、海洋センターについてはプールの転用や、体育館の再整備を実施していくこととした。平成27年度も財団のセンター評価は特Aとなる見込み</p>	4	<p>・オープンに向けた準備について、大まかの方針はできているが、細部についてはこれからの作業となることから、できることから早めの準備を進めたい。</p>
11	<p>平成30年国民体育大会の開催</p> <p>1. 国民体育大会の開催に向けた市民意識の醸成 平成27年度の練習会24回、イベント参加14回 その他、保育園での講習会やさわやか大学での練習会等を実施した。</p> <p>2. 国体時の配宿の方針決定 スキージャム勝山の社員寮の活用が可能となり、民泊は行わないことで国体準備委員会常任委員会で承認された。</p> <p>3. 勝山市実行委員会の設置 11月13日に総会を開催し実行委員会に移行した。 各専門部会については、平成28年度に入り各種団体の役員改選後に行う。</p> <p>4. 先催県の視察 クレー射撃プレ大会の視察 ー 岩手県花巻市 9月4日～6日で実施済 準備委員会の国体視察 ー 和歌山県岩出市 10月4日(日) 23名参加</p>	4	<p>・国民体育大会の開催に向けた市民意識の醸成。</p>
	<p>図書館機能の充実</p> <p>1. ブックスタート事業の推進(子ども読書活動推進計画関連) ①H27実績:対象者(6ヶ月児と保護者)59組、内32組受講 受講率54% 読み聞かせを体験した赤ちゃんの反応を見て感動した。自分も読み聞かせを</p>		

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
12	<p>してみたくなったとの声が多い。また、育児で家にこもりがちな母親同士の交流の場にもなっている。職員も他市の図書館へ視察に行くなど担当者研修会を毎月実施し、赤ちゃんへの読み聞かせの技術向上に努めた。また、対象者には通知だけでなく電話で参加を呼びかけたほか、職員が地域子育て支援センター等へ出向き事業の説明を行い周知に努めた。</p> <p>②ブックスタートの受講者に「赤ちゃんとおぼんの日」（赤ちゃんへの絵本の読み聞かせ会）を紹介し次の段階へ誘導した。結果として図書館の利用増につながっている。</p> <p>2. 学校図書館への支援（子ども読書活動推進計画関連）</p> <p>①学校図書館支援のための専属嘱託職員を1名が中心となり学校へ出向き学校図書データのデータ入力を実施し、既に勝山南部中校下及び勝山中部中校下計7校のデータ化が終了。更に、書籍に背ラベルを貼付し図書分類番号を付すことで配置場所等を整理する作業を進めている。</p> <p>②平成29年11月に勝山南部中校下を対象として行われる福井県学校図書館研究大会に向けた取組みを支援していく。</p> <p>3. 市民ニーズに対応した図書の充実と図書館ネットワークの推進</p> <p>①白山信仰、平泉寺、恐竜化石等勝山市に関連する資料については、新聞等で情報収集に努め購入できないものは寄贈を依頼し入手に努めた。</p> <p>H27年度実績 購入9冊 寄贈19冊</p> <p>②図書館ネットワークによる相互借り受けの推進</p> <p>H27実績 他館からの借受1,517冊 (H26: 1,675冊)</p> <p>他館への貸出187件 (H26: 141冊)</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートはH27年10月から開始したが、受講率が50%程度であるため継続的な周知に努め、子育て支援センターや市内の小児科等関係機関との連携を深めたい。 ・学校図書館支援については、図書の整理作業がある程度済み次第、福井県学校図書館研究大会への取組みのほか、今後の市立図書館との連携や児童生徒への有効な活用方法について学校と協議する必要がある。
13	<p>白山平泉寺歴史探遊館まほろばの誘客増および継続的な白山平泉寺旧境内の整備</p> <p>1. まほろば来館者年間3万人達成へ向けた誘客増</p> <p>年間来館者数：H25=35,063、H26=25,549、H27=30,079 (H28/3/31現在)</p> <p>①旅行代理店バスツアー下見の際には、まほろば見学をアピールした</p> <p>10～12月の期間、JR東日本による吉永小百合出演のテレビCM等のPRがあり、関東方面から来館者が増えた</p> <p>②福井市内の旅行代理店にまほろばをツアー日程に組み込むよう働きかけた (8月28日実施：7ヶ所を巡回)</p> <p>③発掘速報展の三谷遺跡発掘展をまほろばで企画し、PRした。</p> <p>2. 白山平泉寺旧境内の整備</p> <p>①「春の平泉寺をめぐる散策ツアー」を4月29日に実施し、大門周辺観光拠点施設の開発アプリを使った見学会や史跡見学会を開催した</p> <p>②毎月第4木曜日に「まほろばニュース」を平泉寺区に発行するほか、イベント開催も保育園等関係機関に配布し、情報発信を行った</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・JR東日本によるテレビCM等のPR効果及び北陸新幹線金沢開業により、平泉寺来訪者増が見込まれ、今後の駐車場等受入体制の充実を図る ・白山神社の火災早期発見及び拝殿絵馬の盗難防止への対策 ・平泉寺アプリの使用可能場所を示す掲示板設置

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
	③白山神社の本殿・拝殿の防火対策として、パッケージ型消火器の設置の了解を得て、新年度の予算化を行った		
14	<p>世界遺産登録の推進</p> <p>1. 朝倉氏遺跡資料館との連携事業の取組み ①村岡山城跡に関わる聞き取り調査実施（朝倉景鏡の戦死地等聞き取り）平成28年3月19日に一乗谷も絡めたシンポジウムを開催した ②県並びに福井市と合同で、2月12日に文化庁へ日本遺産の提案を行った</p> <p>2. 民間団体による世界遺産登録への意識向上 ①サポーターズ幹事会を軸に、研修会等でサポーターズ会員の意識向上を図った</p> <p>3. 平泉寺と白山開山1300年祭に向けた準備 ①準備協議会立ち上げは出来なかったが、関係する一部の自治体から連携事業の取り組みへの賛同を得、前に進めることになった</p> <p>4. 白山平泉寺紹介本の出版企画 ①債務負担行為を設定し、出版社を決めて、平成28年度刊行に向け着手した</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・平泉寺と白山開山1300年祭に向け、準備協議会立ち上げはできなかったが、声掛けの中で連携取組に前向きな自治体があり、H28年度中に内容を詰める ・一乗谷朝倉氏遺跡と白山平泉寺のルーツや関係する史実掘り起こしの充実 ・白山平泉寺サポーターズクラブの組織強化により、平泉寺ファンを増やす
15	<p>歴史遺産の保護、保存、活用の推進</p> <p>1. 平泉寺総合整備事業並びにその他発掘事業で出土した多量の遺物整理 ①大量の遺物整理作業を、計画に沿って、進めることが出来た</p> <p>2. 県指定文化財三室遺跡の保存、活用の推進 ①今後、既存のトイレを現在の設置場所付近に建て替え、簡易な駐車場を整備することで地元の合意を得た。トイレの実施設計費用を予算化した。 ②「縄文遺跡等資料室」をリニューアルオープン（5月24日）し、毎週日曜日を開館にした。見学者数：258人※平日分含む</p> <p>3. 勝山の歴史人物の紹介 ①石碑調査報告書第2弾については、次年度先送りとなった ②『ものがたり かつやまの歴史（中）』を3月25日に発刊した</p> <p>4. 全国遺跡環境整備会議の開催による全国各地への情報発信 ①10月29～30日に全国遺跡環境整備会議を開催し、全国から約60人（関係者を含めると約90人）の参加が有り、平泉寺や一乗谷朝倉氏遺跡の現地検討会を実施するなど情報発信した</p> <p>5. 村岡山城跡の文化財指定に向けての調査 ①山下文化庁調査官が現地を6月12日に視察した結果、国史跡平泉寺との関係で追加指定は可能との判断が示された。平成29年度より、現地測量及び発掘を行い、平成31年度に報告書を発行。国への追加申請を行う計画。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・村岡山城跡の文化財指定に向け、国庫補助の申請準備を進める ・県指定文化財三室遺跡のトイレ建て替えに合わせ、駐車場整備も含めた計画をたてる ・開善寺本堂と小笠原家累代廟所の一体的保存に向けた創意工夫 ・旧中尾発電所第1号発電機展示施設の構造に係る意見調整を行い、国庫補助事業（都市政策課所管）に乗せる

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
	<p>6. 開善寺本堂と小笠原家累代廟所の一体的保存活用 ①政教分離の壁があって、今のところ、打開策なし。</p> <p>7. 旧中尾発電所第1号発電機展示施設の構造に係る意見調整等 ①施設の構造設計の内容をまとめらず、移設して工事着手に至らなかった。</p>		
16	<p>国重要文化財旧木下家住宅の修繕と管理、活用</p> <p>1. 平成27年度国庫補助事業を活用による修理事業 ①仮設工事・解体工事の設計監理委託業者を選定したが、工事入札方法で時間を要し、計画より3ヶ月遅れで工事を発注した</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設工事・解体工事で発注が3ヶ月遅れ、H28年度に繰り越されたため、今後の進め方については県、文化庁と連絡を密にして、事業を進捗する
17	<p>勝山城博物館との連携強化</p> <p>1. 勝山城博物館との連携事業の充実 第2回共催展を開催し、入館者数が4,754人(昨年度4,713人)となった。昨年の反省を踏まえ、見やすい展示ができた。</p> <p>2. 勝山城博物館の博物館機能(保管庫、燻蒸庫)の活用 貴重な絵図や古文書を燻蒸し、鹿谷の文化財収蔵庫等へ保管した</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・市外の来館者が見て、勝山に関心を惹きつける展示への工夫 ・博物館に足を向ける慣習を育むため、市内児童・生徒の来館増に向けた取り組み ・北陸新幹線効果により増加している観光客を誘導するための創意工夫
18	<p>ジオサイト等の遺産の保全、保護および整備、活用</p> <p>1. 恐竜溪谷100万人(恐竜キッズランド)構想関連事業の推進 ①買収予定地の用地測量を実施し隣接地権者の境界確認を行ったが、隣接地権者から境界確認の承諾を得ることが出来ず、分筆登記ができなかったため、土地の購入が出来なかった。 ②恐竜博物館から得た岩石情報を基に、県と恐竜の森との供給する岩石の調整を行った</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次発掘調査候補地の買収に向け、新年度も引き続き取り組む

【参考】

1 教育委員会の構成 平成27年3月26日から平成28年3月25日まで

職名	氏名	教育委員任期
委員長	若林 正三郎	平成25年 3月26日から平成29年 3月25日
委員長職務代理者	島田 さよ子	平成26年 6月27日から平成30年 6月26日
委員	大久保 千恵	平成27年 4月 1日から平成31年 3月31日
委員	今井 克己	平成27年12月24日から平成31年12月23日
委員(教育長)	梅田 幸重	平成25年 3月26日から平成29年 3月25日

※平成23年12月24日から平成27年12月23日まで、宇佐美博文委員

2 教育委員会の開催回数、内容

(1) 開催回数 13回(定例12回、臨時1回)

(2) 内 容 次のとおり

○ 平成27年4月定例教育委員会 平成27年4月9日(木)

議案第1号 平成27年度勝山市育英資金の貸与者について

議案第2号 勝山市社会教育関係団体の新規認定について

議案第3号 勝山市生涯学習センター運営審議会委員の委嘱について

議案第4号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の新規登録について

・教育委員会の点検・評価の平成26年度評点について

- ・平成27年度教育委員会各課重要課題と取組方針について
- ・3月定例会市議会の報告について
- ・国重要文化財旧木下家住宅保存修理事業計画について
- ・互助会会計の決算報告について

○ 平成27年5月定例会教育委員会 平成27年5月7日(木)

議案第5号 勝山市立公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第6号 勝山市立図書館協議会委員の任命について

議案第7号 平成27年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択に係る決議について

- ・教育委員会の点検・評価の平成26年度評点について
- ・6月補正予算について
- ・北谷公民館の移転について
- ・新体育館の使用料と既存体育館の使用料見直しについて

○ 平成27年6月定例会教育委員会 平成27年6月1日(月)

議案第8号 勝山市教育委員会公告式規則等の一部改正について

議案第9号 勝山市立幼稚園入園料及び保育料の減免に関する規則の一部改正について

- ・教育委員会の点検・評価の平成26年度評点について
- ・平成27年度教育委員会の点検・評価について
- ・中学校経年状況調査について
- ・クロカンマラソンについて

○ 平成27年7月定例会教育委員会 平成27年7月9日(木)

- ・教育に関する大綱について
- ・平成27年度教育委員会の点検・評価について

- ・ 6月定例会市議会の報告について
- ・ 公民館の職員体制見直しについて
- ・ スポーツ推進委員の辞任、補充委員の委嘱について
- ・ 旧木下家住宅調査整備指導委員会委員の委嘱について
- ・ 勝山城博物館・勝山市連携第2回共催展について
- ・ その他

○ 平成27年8月定例会教育委員会 平成27年8月6日(木)

議案第10号 平成28年度使用教科用図書採択について

- ・ 平成27年度教育委員会の点検・評価について
- ・ 勝山市教育委員会表彰審査会委員の委嘱について
- ・ 公民館の職員体制見直しについて(素案)の中間報告
- ・ 平成28年度事業等に係る県に対する重要要望事項について
- ・ 日本体育大学と勝山市の「体育・スポーツ振興に関する協定」について
- ・ 「関学ワンダーフォーゲル部と楽しい夏キャンプ」について
- ・ 福井しあわせ元気国体・元気大会の決定と勝山市準備委員会第1回常任委員会の決定事項について
- ・ 平成27年度勝山市芸術劇場「かつやま寄席」の開催について
- ・ 平成27年度勝山市青少年健全育成推進大会の開催について

○ 平成27年9月定例会教育委員会 平成27年9月3日(木)

- ・ 教育委員会の点検・評価報告書(平成26年度)の提出について
- ・ 市議会9月定例会提出議案等について
- ・ 学校訪問について
- ・ 勝山市立幼稚園保育料について
- ・ 勝山市文化協会「定期発表会」の開催について
- ・ 平泉寺の義経と弁慶ものがたり

○ 平成27年10月定例教育委員会 平成27年10月8日(木)

議案第11号 勝山市子どものための教育・保育給付に係る支給認定等事務要綱の一部改正について

議案第12号 勝山市通学路安全推進協議会設置要綱の制定について

議案第13号 勝山市教育委員会表彰被表彰者の決定について

- ・教育大綱について
- ・全国学力・学習状況調査の結果公表について
- ・学校訪問について
- ・教育委員会の点検・評価(中間)について
- ・9月定例市議会の報告について
- ・2020オリンピック・パラリンピック東京大会キャンプ誘致について
- ・新体育館完成後の屋内体育施設のあり方について
- ・各地区町民運動会について
- ・NHK公開番組「のど自慢」の誘致について
- ・第51回勝山市民総合文化祭について
- ・第40回全国遺跡・環境整備会議(10月29日・30日)について
- ・一流アーティストによる「ふるさと芸術文化授業とふれあいミニコンサート」について
- ・勝山市民大学後期受講生募集について

○ 平成27年11月定例教育委員会 平成27年11月3日(火)

議案第14号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の新規登録について

- ・平成27年度教育委員会の点検・評価(中間)について
- ・教育に関する大綱について(最終)
- ・旧木下家住宅の修理事業の進捗状況について
- ・明日の勝山を築く市民運動推進協議会のふるさと交流会について

○ 平成27年12月定例教育委員会 平成27年11月26日(木)

議案第15号 勝山市立幼稚園管理規則の一部改正について

議案第16号 勝山市立学校管理規則の一部改正について

議案第17号 勝山市子どものための教育・保育に係る利用者負担額に関する条例施行規則の一部改正について

- ・勝山市子どものための教育・保育に係る利用者負担額に関する条例の一部改正について
(勝山市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部改正含む)
- ・勝山市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ・勝山市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ・12月補正予算について
- ・平成28年度予算要求の概要について
- ・平成28年度成人式について
- ・勝山市新体育館の愛称募集について
- ・市立図書館クリスマスコンサートについて

○ 平成28年1月定例教育委員会 平成28年1月7日(木)

委員長の選挙及び委員長職務代理者の指定について

議案第18号 勝山市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

議案第19号 勝山市林業者健康トレーニングセンターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

議案第20号 勝山市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則の一部改正について

議案第21号 勝山市体育施設利用団体の登録に関する要綱の制定について

- ・12月定例市議会の報告について
- ・平成28年度勝山市立公民館嘱託館長及び嘱託職員の公募について
- ・体育館利用団体の調整会議の開催と「屋内体育施設のあり方」方針の説明について
- ・B&G海洋センタープールの転用について

○ 平成28年2月定例教育委員会 平成28年2月4日(木)

- ・ 嘱託職員の新規募集について(中学校施設員2人)
- ・ 嘱託職員の新規募集について(嘱託事務員1人(0.5日))
- ・ 嘱託職員の新規募集について(勝山市体育館トレーニングルームの嘱託職員1人(0.5日))
- ・ 平成30年開催の福井国体における「花いっぱい運動」の実施について
- ・ 勝山市体育館の落成式について
- ・ 勝山市体育館愛称募集の結果について
- ・ 既存体育施設の管理方法の見直しについて
- ・ 勝山市体育館オープニングにおける市民合唱の発表について
- ・ 公民館の職員体制見直しについて

○ 平成28年3月定例教育委員会 平成28年2月25日(木)

議案第22号 勝山市立平泉寺公民館嘱託館長の任命について

議案第23号 勝山市社会教育関係団体の認定更新について

議案第24号 勝山市スポーツ及び文化振興等に関する全国大会出場激励取扱要綱の一部改正について

- ・ 勝山市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ・ 平成28年度教育予算(500万円以上工事含む)について
- ・ 勝山中部幼稚園の学級編成について
- ・ 旧木下家住宅修理事業仮設・分解工事について
- ・ 勝山市民総合大学の概要について

○ 平成28年3月臨時教育委員会 平成28年3月30日(水)

議案第25号 教育部長、課長、公民館長の任免について

3 その他

(1) 勝山市教育委員会表彰式

実施日 平成27年11月3日(火) 勝山市教育会館

概要 受賞者 22名

(2) 平成28年勝山市成人式

実施日 平成28年1月10日(日) 勝山市民会館

概要 新成人 209名